

SS科学基礎「先端科学講座」

SS科学基礎は、「先端科学講座」、「先端科学体験」、「自然探究活動」のプログラムを通して、基本的な科学を理解し、科学の楽しさを学びます。さらに、環境問題について産業界や身のまわりの生活など多方面から考えていきます。

「先端科学講座」では、高大連携による出張講義や出前実験、最先端の科学技術に関する講演会を実施します。

【対象】英進部1学年全クラス（7クラス 211名）

6月17日（金） 宇都宮大学農学部教授小金澤正昭先生の出張講義を開催しました。

講義の演題は「奥日光におけるシカの増加と森林生態系への影響」でした。シカの増加の原因は、オオカミの絶滅やハンターの減少、暖冬などがあげられるそうです。奥日光では、道路による自然林の分断化とともに急増したシカにより、シラネアオイなどの高山植物の被害など、生物の多様性が失われつつあり、森林生態系にも多大な影響を与えています。

シカの増加による事態の深刻化に対して、狩猟や個体数調整を行って生息密度を下げることや自然との共生をはかることなどについて、これからの対応策も学びました。



今回の小金澤先生のプレゼンテーションを用いた講義は、生徒が自分たちの研究発表をするにあたり、とても勉強になりました。



7月19日（火）には、1年生全員が日光戦場ヶ原の自然探究活動に参加するため、生徒たちはメモをとりながら熱心に講義を受けていました。



「奥日光におけるシカの増加と森林生態系への影響」
宇都宮大学農学部教授 小金澤正昭先生



多くの生徒達が積極的に質問をしました。生徒の質問に対して小金澤先生はわかりやすく丁寧に答えてくださいました。